



CSRレポート 2013 レッキス工業株式会社 C

S R 経 営 表

彰

ト

平成25年度 東大阪市CSR経営表彰で「地域・社会部門」、「環境部門」の2部門において優秀賞を受賞いたしました。

# ★トップコメント(社長インタビュー)

\*東大阪市ケーブルテレビ放送「虹色ねっとわーく」の企画 [CSR経営表彰・受賞企業] へのインタビューにて

# 「商品づくりと連動したCSR活動」



(司会) CSR活動に取組むきっかけは?

代表取締役社長 宮川 純一

(宮川) 創業以来、75年ほど障がい者雇用を進めてきましたが、阪神淡路大震災以降は特に主要なお客様であるガスや水などのライフラインを守ることが大事なことだと感じました。 それ以来、社会貢献を意識した商品開発に取組んでいます。

- (司会) CSR活動を実践した感想は?
- (宮川) やはり商品づくりの中で、環境を意識した物を取り入れることなど、お客様の中で社会貢献度というものが評価していただける対象が増えてきて、社内でもそういうことを誇りに思って仕事する 人が増えてきたと喜んでいます。
- (司会) これからについて?
- (宮川) 引き続き障がい者雇用やボランティア活動に力を入れていきますが、それ以外にも商品づくりを 通じて、会社全体で地球環境を守っていこうという意識を強くしたり、耐震性のある配管を通じ て、社会貢献できることを増やしていきたいと考えています。

# ★地域・社会部門

障害者雇用の歴史は長く(1938年~) 障害者雇用率も10.4%と非常に高い率 を維持していること。 また、「東大阪 ふれあい祭り」でのバザー収益金の寄 付、支援学校を中心とした職場体験の 受入、障害者福祉施設への段ボール収 集作業の協力など、障害者支援活動の 取組体制が高く評価を受けました。



# ★環境部門

全製品が環境対応型。主力製品の一つである「転造ねじ加工機」は、耐震性に優れているだけでなく、加工時に金属くずがほとんどでないエコタイプの製品である。 また、工場のリサイクル率についても全社で93%と高く、環境負荷についてしっかりと考えられた活動が高く評価を受けました。



(環境対応型新製品「F80A パイプマシン」全部品が有害 物質不使用や、従来製品より軽量化・耐久性アップ) これまでの活動を通して今年は多くの方々からお礼の手紙や、こころ温まる手作り品をいただきました。

# ★児童養護施設、生駒学園さんより



毎年、年末にお配りしていますお餅。 児童さん達が作ったお礼の貼り絵が届 きました。(\*表紙に使用させていただきました)

# ★玉川中学校の生徒さんより



職場体験実習に来られた生徒さんが 授業で作られた「REX新聞」が送ら れてきました。

# ★職場体験実習に参加された方からのお礼状

沢山の方からお礼状が届きました。幾つか抜粋して紹介いたします。

### <奈良O工業高校・Mさん>

「忙しい時期にもかかわらず、親切にご指導いただきとても嬉しく思います。また、 作業だけでなく沢山のことを教えていただきました。これからは様々な場面で、 しっかりと計画を立て、順序よくこなしていける社会人になれるよう精進します」

#### <大阪A高等職業専門校・Iさん>

「電動ドライバーを扱ったことは初めてで、私自身左利きと、用意されたものは右 用ばかりで扱いにくい部分がありましたが、ガッチリと部品を取り付けていくに つれ、ものづくりをしているという実感があり楽しいと思いました。

現場では気温が低い箇所もあったのですが、近くの方にストーブを用意してもらったり、休憩時間に温かい飲み物を用意してもらったりと、親切な配慮をしていただいたことに感謝しております」

#### <大阪H支援学校・Nさん>

「初めは緊張して挨拶がうまくできませんでしたが、皆さんに話しかけていただき とても楽しかったです。作業の方も教えてもらったようにできずでしたが、何度 も優しく教えてくださりありがとうございました。すごく良い経験になりました」

お礼状の中には私たち社員が勉強になることも多くあります。 特に配管用作業工具を製造している当社では、「左利き用の工具」や、「何時もは簡単に行なっている作業が、初めての方には難しい」など、感動を与える製品・サービスの提供へのヒントにもなることを有り難く思います。

社会貢献が地域との調和へと繋がっていくような活動を進めています。

今年は、地元の支援高等学校の生徒達が当社の花壇に美しい花を! また、汗を流しながら植えている姿やその花に、地域住民の方々が足を止め観られている姿はとても微笑ましい光景でした。そんな方々が生徒さんや学校を誉め、私もと植木をくださった近隣の方など、社会貢献を通じて地域のコミュニケーションを深めています。

# ★地元支援高校との取り組み(沿道に花を)





春から「府立たまがわ高等支援学校」に当 社花壇を提供し、生徒さんに花を植えていた だきました。また、多くの地域住民の方が鑑 賞してくださいました。

来年も沿道にいっぱいに咲く花が楽しみで す。ご鑑賞ください。

# ★定期的な清掃活動(沿道を美しく)

毎週水曜日(2009年4月から継続して) 当社製品の修理担当部門・テクノサービ ス部の部員が当社工場周辺・沿道の清掃 を続けています。



(工場周辺・沿道の清掃)

また、これまでに近隣の駅や、バス停 周辺の清掃。生駒山ハイキング道の清掃 などもチームを作って実施しました。



(駅前周辺の清掃)

支援高校の生徒さんたちが花を植えている姿を見た近隣の方から、苗木を頂きました。

その苗木は当社のプランタンに添え木をして、ある文字になるように植え付けまでと。また、ちょっとした当社施設の 不具合にもアドバイスをいただき、色々な場面でのご協力に感謝しております。









### ★学生の就業体験受入

府内の障がい者支援学校、地元の中学校、高校・大学から生徒さんの就業体験 (現場実習)の受入をおこなっています。





### 3年間の就業体験 受入実績

2011 年度	2012 年度	2013 年度
11名	9名	9名

受入実績も安定し、今では年間受入計 画を作成して、依頼のあった学校や受入 部門との調整などおこなっています。

特に障がい者雇用率(10.4%)の高い 当社は、支援学校の生徒さんの現場実習 を優先的に受入しています。

# ★東大阪市民ふれあい祭りへの参加

今年も「大阪府布施障害者雇用対策協議会」 に協賛し、会員企業各位よりご提供いただいた 品や、社員が持ち寄った品を「東大阪市民ふれ あい祭り」でバザー販売しました。

バザーは当社従業員がボランティアとして参加し、収益金は同協議会として、障がい者の雇用・定着を目的とする支援活動に使用しています。





(バザー店舗の様子)



(障がい者のつどい/吉本なんばグランド花月にて)

社外ボランティア活動の体制づくりをおこなっています。

従業員へのアンケートを実施した結果、これまでにボランティア活動に参加したことのある方が38%。参加はないが機会があれば活動に参加したいと思う方が59%と、両方併せると約75%の方がボランティア活動への参加意志があることがわかりました。当社就業規則ではボランティア活動に参加するための休暇取得を定め、休暇取得の運用を記述した「ボランティア活動運用要領」つくりもおこないました。

活動に参加された方に良かった点を聞くと、「お礼を言われた時に嬉しさや、満足感・充実感がある」「活動を通じて 色々な方と触れ合えた。知識が身についた。」など、温もりが伝わってきます。 生産活動から造られた製品、その製品販売まで、全ての工程において環境配慮した活動をおこなっています。特に自社で開発した製品には多くの環境配慮を施し、配慮内容が製品販売のアピールポイントとなっています。

### ★環境対応型製品の販売促進

主力製品の一つである転造ねじ加工機は、加工された配管用パイプが耐震性・耐久性に優れているだけでなく、加工時の金属くずがほとんど出ないエコプロダクト製品です。

これらの特性をお客様に伝えるために 社内外で講習会を開催し、耐震性を施す 施設に使用していただいております。



(転造ねじ加工用ヘッド)



| (パイプマシン切削加工)



(転造ねじ加工)

◆転造ねじ加工用ヘッドはパイプマシンにも搭載が可能で、 金属くずがパイプマシンでの切削ねじ加工の1/10。

# ★環境改善(再発防止対策事例紹介)

ISO14001 の認証取得をきっかけに外部 審査での審査結果より効果のある課題を抽 出し、改善を続けています。

今年は、製品に使う部品に色をつける設備の排水がタンクに満タンになっても異常を知らせる装置がなく、問題になりました。早速、色つけ作業位置の直ぐ側に警報ランプとブザーを設置(下写真)しました。



また、タンクから水が溢れた場合を想定しての緊急対応訓練も定期的に実施しています。



#### ★エコキャップ運動

エコキャップ運動も浸透し、今では工 場内だけでなく家庭などで飲んだペット ボトルのキャップを集めて持参される方 もいます。

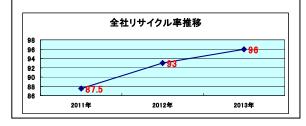
### 3年間のエコキャップ提供推移

年度⇒	2011	2012	2013	合計
キャップ数	1680	5160	3784	10624
ワクチン本数	1.9	6	4.4	12.3

◆キャップ 860 個でワクチン1本になります。

#### ★リサイクル率:96%を達成

今年のリサイクル率の目標を95%以上 と定め、継続的な可燃ゴミの削減や、産業 廃棄物処理委託会社の新規開拓などが効果 をあげ、目標を達成しました。



「社員一人ひとりが元気で、働きがいのある会社の実現」を理想の姿とし、様々な活動を展開しています。明るく楽しい職場づくりでは感謝の気持ちを伝える「ありがとう!」の掲示板も昨年の2倍の書込みとなりました。

# ★ほめ合える文化の定着

昨年開設した「ありがとう!」掲示板へ 書き込みされた感謝の件数は、この一年で 2倍に増えました。

また、書込みの参加者率も50%を超え、 内容も社員以外の方からの声を紹介したり と、楽しい掲示板になってきました。



「ありがとう!」書き込み実績

年度⇒	2012	2013	合計
ありがとう件数	456	942	1398
参加率(%)	47	54	* (54)

\*参加率合計は、2年間の最大値を表示

# ★5S活動 (パトロールの実施)

「危険箇所がないか?」を含め各職場の整理整頓状況の確認と、課題の改善に向けた5Sパトロールを昨年から実施しています。月1回、安全衛生委員会のメンバーが各職場を回り、点数を付けて課題箇所を掲示板へ張り出す仕組みです。工場見学など来客者が増えている中、自信をもって見学してもらえる工場を目指しています。

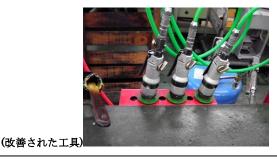


(工場内の油漏れを指摘)

### ★製造現場での改善活動(長崎教室)

今年後半からIEの講師・長崎先生の指導を受けて、製造現場で多くの改善を進めています。「生産の見える化」を題材に、ボードに課題を張り出し、改善の進捗状況を管理しています。また、改善された箇所も改善が行なわれたことが分かるように整頓され、職場内がより明るくなりました。





#### ★社内教育の充実

知識のレベルアップ教育の実施や、社員の自己啓発を推進する制度をつくり、充実した教育を推し進めています。今年は、「財務」「リスクマネジメント」「人事考課」についての研修会をおこないました。



(財務研修)

数々の活動を通して、社員満足度を高めています。

年1回アンケート調査を実施し、2010~2013年の調査では 72.6%⇒73.2%⇒74.2%⇒74.6%と、上昇傾向です。来年度 の目標は 75%で、各活動をより活発に進めていきます。

P

L

0

F

Ι

L

 $\mathbf{E}$ 

展開している各活動は支えとなる会社があってこそで、今後の活動展開のためにも 様々な脅威から「会社を守る」。緊急時からの「早期復旧」。これらができる強い会社づ くりを進めています。

### ★法令順守の徹底

法令違反、偽造・隠ぺいなど社会のルールを無視することは事業存続に関わる問題となります。当社では「コンプライアンス・ガイドブック」を従業員全員が閲覧できる環境下に作り、法令・会社規則の順守だけでなく、安全やマナーなども守れる会社を目指しています。 来年は、「部門毎に関連法令が守れているか?」などの点検項目を増やしていきます。

◆コンプライアンス・ガイドブック(更新回数3回:最終更新2014年3月)



## ★リスクマネジメントの実践

REX: リスクマネジメントの基本目的

- ①事業の永続的継続性の確保
- ②お客様・社員・社会との信頼関係の確立と維持
- ③社員・家族・地域社会の安全と安心の確保
- ④商品・サービスの安定供給による信頼性向上
- ⑤経営体制強化と企業価値の向上

リスクマネジメントの「基本目的」と「行動指針」を定め、様々なリスクに対応できる強い会社づくりを進めています。初年度となる今年は、緊急時(大震災など)からの早期復旧には多くの従業員の力が必要となるため先ずは従業員を危険から守り、災害時に連絡が取れるようにすることから始めました。(以下、実践内容)

- ①緊急地震速報・受信装置を設置し、テスト放送による避難・救命訓練の実施。
- ②安否確認メールシステムを導入し、安否確認テストメールの送受信の実施。
- ③帰宅困難者のための備蓄品の購入と保管。 など。







(緊急地震速報受信装置/震度 6 弱で起動)

(避難・救命訓練)

(80名・3日分の備蓄品)

来年は、地震などの脅威により部材納入が途絶えることのない「サプライチェーン対策」などに取組み、お客様への商品・サービスの安定供給ができる体制づくりを行ないます。

### 代表取締役社長 宮川 純一

創 業/大正14年8月1日 創 立/昭和40年2月26日

所在地/(東大阪工場)東大阪市菱屋東1-9-3 (鳥取工場)西伯郡大山町高田1124-7 営業所/(国内)札幌 仙台 東京 前橋 神奈川 名古屋 大阪 広島 九州

従業員/184名(2014年3月現在)

ホームページ/ http://www.rexind.co.jp

お客様相談窓口 (フリーダイヤル) / 0120-475-476